



夏休み中子供たちをお願いします！

子供たちは、明日22日から8月24日まで、34日間の長い夏休みに入ります。一学期の途中ですし最後まで普通に授業があるので、子供たちも今日まで落ち着いた態度で過ごすことができました。今日の全校集会で、一言の私語もなく整然と集合する子供たちの姿を見て、これだったら、明日からの長い休みも大丈夫だろうと思いました。

でも、これから34日間気が緩むこともあるでしょう。大きな事故や事件に発展しないよう、保護者、地域の方々の御協力を心よりお願いいたします。

さて、今日の全校集会では、明日からの夏休み中、一人一人が次のことをがんばって欲しいと思い話をしました。シンプルに2つです。

- 1 体全部を動かすことを、毎日しましょう。
- 2 やらなければならないことは、確実にやりとげましょう。

1番目の体全部を動かすことは、「運動、手伝い、外遊び」ですね。案外知られていませんが、小林市は全国的にみても子供の肥満の割合が高いです。大人になってそれが原因で糖尿病や腎臓透析になる人も多いことが、今課題になっています。最近、田舎ほど体を動かさない傾向にあります。夏休みにクーラーの中でゲームやテレビだけの生活では終わってからが心配です。いい機会ですから、どんどんお手伝いをさせてください。お風呂洗いとかは、全身運動になっていいですね。

2番目のやりとげなければならないことは、「宿題」です。子供たちに聞いたら、「大人は宿題がなくていいなあ。」と思っているそうです。そこで、「大人になったら、やらなければならないことばかりで、それをきちんとできる人でなければ生活ができないんだよ。それには、まず子供のうちにそれが当たり前前にできる練習をしておかないと」という話をしました。勉強は子供たちの唯一の仕事です。自分でできるように、サポートをお願いします。



- 6日(日) 市PTAバレーボール大会
- 9日(水) 西諸人権・同和教育研究大会
(PTA代表、職員参加)
- 10日(木) 慰霊集会・追悼法要
「殉難の碑」に献花
- 11日(金) 祝日「山の日」
- 15日(火) 願正寺夏祭り
- 19日 西小林少年野球スポーツ少年団
- 20日 全国大会・沖縄大会参加
- 25日(木) 後半授業開始 午前中授業
給食開始 集団下校

家庭のルールを決めましょう。

長い休みですから、家庭でのルールは必要です。小学生の子供たちは人生経験が少ない分、判断力が大人より劣ります。それを補うのが「きまり(ルール)」です。特に1日の時間割(スケジュール)は必要です。せっかくの時間を有効に活用できるように、そして、自主・自律の力が付くように、親子で次のようなことを話し合っ、決めてみてください。

- 1 1日の時間割を作りましょう。
- 2 手伝いはたくさんさせましょう。(子供の生きる力を育てます。)
- 3 テレビ、ゲーム等は親のいる時間帯にさせましょう。(子供は熱中すると自分でブレーキをかけることが難しいです。)

桃源郷コスモスを植えました。

小林市が「魅力ある観光振興アイデア」を募集し、そのコンテストで採用されたのが、「コスモス一色小林」です。これは、小林市の将来の高齢化・生産年齢、人口減少を見据えた本格的な対策の一環です。小林市は日帰り観光客が多く、そのほとんどが10月に集中しています。生駒高原のコスモスを見にくる人たちです。世間では「小林市=コスモス」のイメージがあるようです。そこで、コスモスが咲く地域を広げ、「コスモスで桃源郷」を作りイメージアップすることで、集客増加を図ろうというのがねらいです。そこで、耕作放棄地や、学校等の花壇、吉都線の周辺、県道1号線にコスモスを植えることになり、その第1弾として市内4校にコスモスを植えることになりました。その4校に選ばれたのが西小林小です。

そこで、6月下旬から、栽培委員会と用務員の廣庭さんがコスモスの苗を育て、夏休み前の2日間に全校児童で植えました。全部で1000株です。運動場の時計台付近のけやきの下と、西側校門の両側に植えました。西小林地区は、まちづくり協議会でも、コスモスの植栽に取り組



【1年生もがんばりました】

む計画があるそうです。

10月にはコスモスが西小林地区を彩り、それを見に訪れる人が増えるといいですね。

今年も充実した活動になりました。

7月2日に、今年で18回目になるふれあい参観日がありました。昨年までは宮崎県職業能力開発協会から、授業等へのマイスター派遣で、何人かのプロの方に来ていただきましたが、今年はそれをせずに、地元の方を中心に講師をお願いしましたところ、10の講座に30名ものボランティア講師の方に来ていただきました。本当にありがたいことです。講座は、「おやつ作り」「盆景作り」「茶道」「押し花」「ニュースポーツ」「国際交流」「昔の物作り」「絵手紙づくり」「おもちゃづくり」でしたが、どの講座も大変充実しており、参加した子供たちも保護者の方々にも大好評でした。

来年は、藤井四段で話題の将棋も講座に取り入れたらどうだろうか、という意見も寄せられましたので、もし、将棋を教えられる方がいらっしゃいましたら御協力お願いできないでしょうか。

また、それ以外でも特技があり、ボランティアで教えてくださる方がいらっしゃいましたら情報を学校までお寄せください。お待ちしております。今年お世話になりましたボランティアの講師の皆さん本当にありがとうございました。

着衣泳を体験しました。

7月14日に、社会教育課から柴岡先生に講師をお願いして、5・6年生が着衣泳を体験しました。服を着たまま泳ぐ経験をしたり、500mlのペットボトル1本で浮く練習をしたり、逆に、プールサイドからペットボトルを投げ入れて、おぼれている人を助ける練習をしました。体の力を抜いてあごを上げると浮くことや、ペットボトルに少し水を入れた方が遠くにとぶことなどとても大事なことを学びました。



何より浮くことが大事！いざというときには、冷静な判断が大事です。

全国大会でがんばってきます！！

6月号でお知らせしたとおり、西小林少年野球スポーツ少年団が7月2日に行われた県大会で準優勝の成績を収め、全国大会に出場することが決まりました！！おめでとうございませう！！

全国大会は、19日(土)・20日(日)の両日に沖縄で行われるそうです。本番では、試合ができることに感謝して、西小林の子供らしく、はつらつと伸び伸びとしたプレーをしてきて欲しいと思います。何より、試合自体を楽しんで来て欲しいですね。応援しています。がんばれ！！

集団宿泊学習での様々な体験

5年生が青島青少年自然の家で7月12日～14日(2泊3日)の日程で宿泊学習を行いました。今年は梅雨明け後でしたので、素晴らしい天気恵まれ、全て計画どおりに実施することができました。1日目は、昼食、フィールドアスレチック、ナイトウォーク、2日目は飯ごう炊飯、サイクリング、キャンプファイヤー、3日目は青島漁港への見学が主なプログラムでした。

1日目は班行動ができずに、自分中心の行動をしていた子供たちも終わる頃には5分前行動ができるようになり、みんなで協力する姿も見られるようになりました。「規律」「協同」「友愛」「奉仕」の4つの大切さを体験を通して学ぶことができたのではないのでしょうか。期間中は他の学校とも一緒でしたが、「返事」「あいさつ」「聞く態度」「立腰」はどの学校よりもよかったです。にっこぼっ子のよさも確認できました。5年生が1段成長した姿を今後の活動に期待したいと思います。



こいでもなかなか前に進みません。みんなで力をあわせることがコツね。

バイキングでの食事みんなで食べるとおいしいね。



宮崎日日新聞「若い目」掲載作品紹介

1年 おおまるじゅら君

「あついのはいや」～7月14日(金)掲載～
ぼくは、とうこうはんであるいてがっこうにきています。きょうは、あつくて、あるくのがつかれました。せんせいが、「あついからなつやすみがあるんだよ」といいました。あついのはいやだけど、なつやすみがなくなるのはもったいやです。

1年 おおくぼゆのさん

「かみなりこわい」～7月17日(月)掲載～
あさ、かみなりがなっていました。あめもふっていました。かみなりのおとがこわかったです。「ごろごろ」。まどまでゆれていました。そとをあるいているときは、もっとこわいです。かみなりは、もうなつてほしくないです。

1年生は、今、国語でひらがなを覚えて、文章を書く練習をしています。そのときに書いた作文を宮日に送りました。日常の何気ないことが題材ですが、1年生ならではの、素直で子供らしい思いが生き生きとした文になっていますね。